

ホームページ <http://www.hahashouchu.ogasawara.ed.jp/>

2020年に向けて

校長 横山 優美

「2020年」と言えば、真っ先に頭に浮かぶのは「東京オリンピック」ですね。小学校にとっては、「2020年」は新学習指導要領が全面実施される年でもあります（中学校は2021年より全面実施）。

学習指導要領とは、国が「子供たちが学校で何を学ぶのか」を定めたもので、教科書もこれをもとに作られます。今回は「変化の激しい時代を生き抜くために必要な力を育てる」ことが大きなテーマになっています。日本は、人口減少、少子高齢化、グローバル化、高度情報化が急速に進み、AI（人工知能）の発達で社会構造が大きく変わろうとしています。その時代に、主体的・協働的に課題に取り組む人材が求められるのです。新学習指導要領では、知・徳・体にわたる「生きる力」を身に付けるため、「主体的・対話的で深い学びのある授業」等を通して①知識及び技能②思考力、判断力、表現力等③学びに向かう力、人間性等を育てることを柱としています。学んだ知識を生かして自ら探究し、どのような変化にも柔軟に対応し、人間としての感性を働かせて未来を創造していく力を身に付ける必要があるからです。そして、そこに至るには、「なぜ学ぶのか」といった学びの原点に立ち返り、教科本来の学ぶ意義を考えていくことも大切なことだと感じます。それが学びの意欲にもつながってくるからです。

保護者の皆様も「道徳の教科化」「5・6年生の外国語科」「プログラミング学習」等にご関心も高いことと思います。今回の学習指導要領改訂のベースには、「何を学ぶか」が中心だった従来の指導要領から、「何ができるようになるか」で付けたい力を明らかにし、そのために「何を」「どのように」学ぶか指導の計画と実施をより確かなものにする必要があります。学習課題を自ら設定し解決したり、答えがいくつも存在するような問題に挑む力をつけさせたりすることとして、教師が黒板を背に一方的に子供たちに教え込む形ではなく、課題解決型の学習やペアやグループによる意見の交流等、「主体的・対話的で深い学び」への授業の工夫も求められています。

新学習指導要領への移行のための期間（小学校：平成30、31年度、中学校：平成30～32年度）が次年度から始まります。全面実施に向けて教育内容等が少しずつ変わっていきます。小学校道徳では、教科書の使用が始まり、「考え、議論する道徳」の授業へと多様な指導方法の工夫が求められています。また、小学校5・6年生の「外国語活動」は新たに「外国語科」の学習内容を15単位時間加え、年間50単位時間行います。これに伴い、5・6年生は月2回程度、水曜日を6時間授業とします。3・4年生の「英会話」は「総合的な学習の時間」の中ではなく、別の教科・領域「外国語活動」として年間35単位時間実施します。小学校1・2年生、中学校1～3年生の「英会話」は今まで通り実施いたします。その他、移行期間の詳しい学習内容につきましては、後日改めてお伝えいたします。

全国的な新しい教育改革の流れの中で、特色ある活動を大切にしながらも、全体のバランスや実現可能な範囲についての見直しが必要になってきています。今後、保護者や地域の皆様方との対話を大切にしながら、次年度以降の本校の教育計画やその内容について具体的に考えていきたいと思っています。どうか温かいご理解と変わらぬご協力をよろしくお願いいたします。

学習発表会には保護者の皆様、地域の皆様、多数ご来校いただきありがとうございました。子供たちの1年間の学びと成長を感じていただけたのではないのでしょうか。PTAの陶芸作品、地域の方々の作品、小笠原風…、体育館いっぱいになり、たいへん見ごたえのある学習発表会となりました。ご協力ありがとうございました。

中学校国語科 田中 恵一

1月9日、始業式終了後に「書き初め大会」を行いました。母島では最高気温 24℃と、春の到来を感じさせる穏やかな天候で、まさに「書き初め日和」でした。小学 1、2 年生は硬筆の作品に取り組みます。マス目いっぱい力強く書かれた字から、集中して取り組んだ様子が伝わってきます。小学校 3 年生は「お正月」と 3 文字の言葉を書きました。正月は直線が多く書きやすいようなのですが、「お」の字に苦戦したようです。それぞれの特徴も「お」によく表れていました。4 年生は「美」、5 年生は「春」、6 年生は「実」と、ともに「一」が何本か並んでいる字が印象に残りました。どれも迷いなく書かれ、子供たちの熱心に取り組む気持ちがよく表れていました。中学 1、2 年生は楷書、3 年生は行書に取り組みました。一字一字、筆の使い方や字形に気を配り、悩みながらも集中して取り組んでいました。結果、その試行錯誤の過程がよく伝わる作品になっていました。

翌日 10 日の「百人一首大会」は、全ての児童生徒が参加しての大会です。小学 1、2 年生は 2 学年での競技、小学 3 年生から中学 3 年生までは一緒のトーナメント戦です。授業でも練習をしてきました。必死に取り組む子供たちの姿勢に、大会への熱い想いが伝わってきます。決勝戦は中学生同士、大勢の児童生徒、教員が見守る中、張り詰めた緊張の中での対戦となりました。1 首読むごとに、颯爽と札をとる二人の姿に感嘆の声が漏れていました。児童生徒のみなさん、本当にお疲れさまでした。

長い歴史を越え、現代の私たちが触れる百人一首の言葉には、古からの変わらない人の「心」が詰まっています。図書室には百人一首の資料が揃っていますので、この大会を契機に、その素晴らしい言葉の世界にぜひ触れてください。

相談室より

スクールカウンセラー 池田 恒平

風邪やインフルエンザが流行りましたね。どの学校でも欠席者が多く、心配な思いを抱きつつ新学期がスタートしました。

私も年末に風邪を引きました。冬休みは帰省しなかったもので、次第に寒くなってきた年の瀬に、一人で寝込んでいました。風邪自体は大したことなかったのですが、身体が弱ると、心も弱るもので「最近、風邪の治りが悪くなったよな。」とか「そういえば記憶力も落ちてきたし、集中力も落ちてきた。」などと考え始めてしまい「もう自分はこのまま落ちていくだけのような気がする。」「そもそも今の自分って何なんだろう。人生失敗している気がする。」とネガティブな考えが膨れ上がっていきました。

そんな中、夢を見ました。“実家の自分の部屋”の夢です。服は脱ぎっぱなし、本も散乱していて、夢の中でも散らかったままの部屋でした。そして、私の部屋に住みついている飼猫のぴーたは、当然のようにベッドに横たわり、部屋に入ってきた私を凝視しています。それは、本当にいつもの変わらぬ光景でした。

目が覚めると、体調はずいぶん良くなっていました。あれだけ沈んでいた気持ちの方も、何事もなかったかのように晴れていました。まぎれもなく、いつもの私に戻っていました。

母島では、“相談室”を使わせていただいています。私の出勤日は、子供たちや保護者の方が自由に来られるよう開放しています。今年も、母島の相談室が「いつもと変わらぬ安心できる場所」であるように、心がけていきたいと思います。

総合的な学習の時間の発表

小学校総合担当 今川 麻里子

毎年学習発表会で3～6年生は総合的な学習の時間の発表を行っていますが、どの学年からも「前の学年と同じような発表にはしない」という思いが伝わってきます。各学年工夫を凝らして、自分たちが学んできたことを発表していたので、ここで少しご紹介します。



【3年生】 学芸会でも屈指の演技派の4人。西浦校外学習の様子を、見ている1、2年生が早く行きたい！と思うような内容にして冒険者になりきって伝えました。



【4年生】 この学年も演じるのが大好きな5人。ローソク石について私たちが知っているようで知らないことをたくさん調べ、刑事ドラマ風に紹介しました。

【5年生】 1月になってからインフルエンザによる学級閉鎖により、準備時間が限られてしまいました。しかしミズナギドリやネコ柵について学んだことを一人一人長い原稿を全部覚えて高学年らしく発表しました。

【6年生】 この学年は低学年の頃から人数が少なく、一人一人の発表内容が多いですが、もう慣れたもの。タコノ葉細工について、パワーポイントを自分たちで作成してプレゼン風に発表しました。

これらの発表ができるのもガイドや講師として教えてくださる地域の皆様のご協力があってこそです。今後も学校教育へのご理解・ご協力をお願いします。



学習発表会

中学校美術科 玉城 美那

1月28日(日)、学習発表会が行われました。天候が不安定な中にも関わらず、保護者や地域の方々など多くの方に足を運んでいただき、会場となった体育館はとても賑わいを見せていました。これまでの児童生徒の日頃の学習の記録や、授業での作品などが各学年や教科のブースにずらっと並び出されると、子供の成長を感じると共に、子供たち自身も約9ヶ月間の学習の成果を実感できたのではないかと思います。1日の中で学習の成果はなかなか目に見えませんが、小さなこともコツコツと積み重ねたり、周りと協力したりすることによって、努力は大きな成果を生み出します。私事ではありますが、今年の小笠原諸島返還50周年を記念して、実行委員の方々との連絡を取りながら、返還祭が行われる脇浜なぎさ公園のステージの背景画としての幕を、全校児童生徒で制作するプロジェクトに携わらせていただきました。学習発表会の舞台上に設置されていたので、お気付きになった方も多かったのではないのでしょうか。横に9m、縦に3mもある巨大な幕に、小学1年生から中学3年生までが協力してどのように制作を行うか、初めは試行錯誤しましたが、制作に入ると皆協力して、仲良く楽しげに制作を頑張っていたのが心に残っています。始めは真っ白だった幕に段々と様々な色が入り、最後には大きな1つの作品となる。子供たちは1人の大人となるために、今様々な学習を積んでいる途中です。学習発表会で見たことを、家庭や地域でも子供に声をかけ、ぜひ頑張りやを認め褒めてあげてください。学校、家庭、地域の協力こそ、これから子供が大きく成長していく糧になるはずですよ。



2月の生活指導

生活目標

- 「感謝の気持ちを表そう」
- ・いろいろな学年の人たちと話したり、遊んだりしよう。
 - ・感謝の気持ちを言葉にしよう。
 - ・卒業行事を成功させよう。

安全指導 5日(月)

「校舎内での過ごし方」が重点指導目標です。三学期も後半です。学習・生活両面でまとめをしていく時期です。落ち着いて学習し、安全な生活が送れるように、休み時間のときなど、校舎内での安全な過ごし方やルールについて指導します。

避難訓練 予告なし

地震が発生し、1時間後に津波が来襲すると想定した避難訓練を行います。

放送の指示をよく聞いて、誘導者の指示に従い、安全かつ素早く冷静な避難行動を身に付けさせます。津波の時の避難経路、集合場所を確認させます。



小学校音楽発表会

1 日時

平成30年2月8日(木)(音楽室)

開演 午後1時15分 閉演 午後2時15分

2 プログラム

- (1) 始めの言葉(5年)
- (2) 校長先生のお話
- (3) 発表

4年	歌 「ゆかいに歩けば」 合奏 「いろんな木の实」
3年	歌 「おかしなすきなまほう使い」 合奏 「パフ」
2年	歌 「手のひらを太陽に」 合奏 「こぐまの二月」
1年	歌 「はるなつあきふゆ」 合奏 「アルプス一万尺」
5年 6年	歌 「南風にのって」 「気球にのってどこまでも」 合奏 「千本桜」
全体	歌 「この星に生まれて」 「明日という日が」

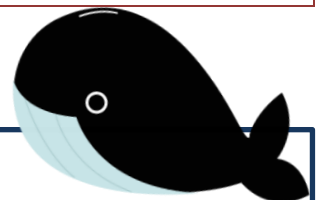
(4) 終わりの言葉(6年)

是非、おいでください。



2月の主な行事予定

			16 金	(小) 6年生を送る会
1	木		17 土	
2	金		18 日	
3	土		19 月	朝礼(保健指導) デザートの日
4	日		20 火	S.C在島
5	月	朝礼(安全指導) デザートの日	21 水	(小) 都巡回心理士相談
6	火	(小6) 中学校体験入学	22 木	
7	水	(中2) 職場体験始	23 金	(小) 6年生を送る会 都交響楽団
8	木	(小) 新入生体験入学 (小) 音楽発表会 (小) 新入生保護者説明会	24 土	
9	金	(中2) 職場体験終	25 日	
10	土		26 月	(中) 期末考査1
11	日		27 火	(中) 期末考査2
12	月		28 水	(中) 期末考査3
13	火	中朝礼		
14	水			
15	木			



◆PTA 郊外部ホエールウォッチングについて◆

○平成30年2月10日(土) 午前9時00分から12時00分まで

※予備日①2/11(日) ②2/12(月・祝) ③2/17(土) ④2/18(日) ⑤3/10(土)